

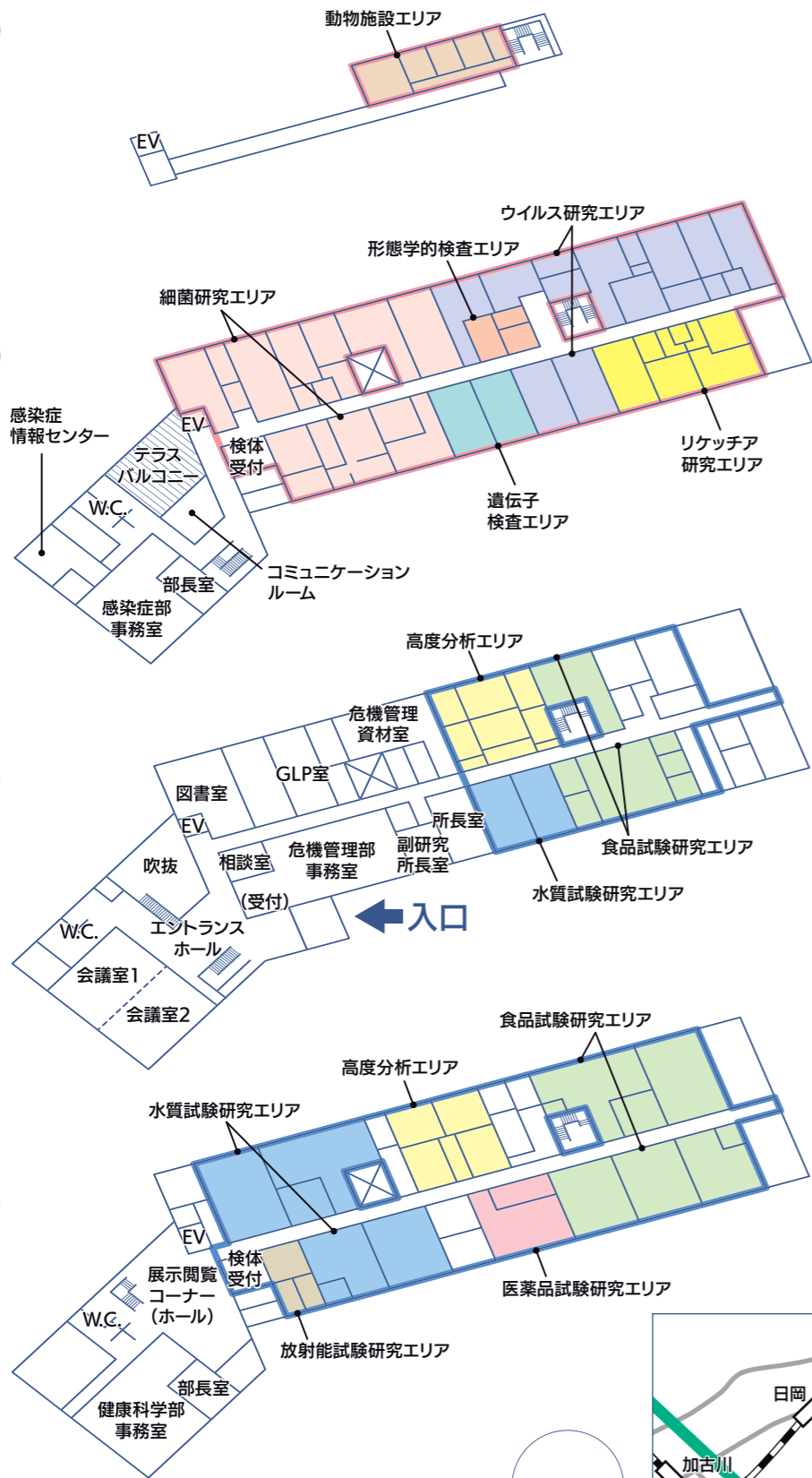
4F

3F

2F

1F

■ 感染症部研究フロア
■ 健康科学部研究フロア



MAP

沿革

1948年(昭和23年)
兵庫県衛生研究所を設置する。

2002年(平成14年)
兵庫県立衛生研究所と兵庫県立公害研究所を統合し、兵庫県立健康環境科学研究センターを設置する。

2009年(平成21年)
環境部門を分離し、兵庫県立生活科学総合センターと統合し、兵庫県立健康生活科学研究センターを設置する。

2018年(平成30年)
生活科学総合センターを廃止、名称を兵庫県立健康科学研究所に改める。

建物概要

本館：鉄筋コンクリート造 4階建
延べ面積 5,718.84㎡
建築面積 2,039.91㎡
来客駐車場：30台

建物の特徴

セキュリティの強化
試験研究エリアとそれ以外のエリアを明確に区分し、入退室管理システムを導入した。

将来の変化に対応
将来の機器更新・配置転換を考慮し、間仕切り壁等を採用した。

省エネ・災害時の対応
太陽光発電、LED照明、非常用発電装置を導入した。



交通案内

【バス】 JR加古川駅(北口)から県立加古川医療センター行き 乗車約15分 バス停から北へ徒歩約5分
【車】 東播磨道「県立加古川医療センターランプ」から約2分

04保②-001A3



Hyogo Prefectural Institute of Public Health Science

兵庫県立健康科学研究所

Hyogo Prefectural Institute of Public Health Science
兵庫県立健康科学研究所

危機管理部・感染症部・健康科学部
〒675-0003 兵庫県加古川市神野町神野 1819 番地の 14
TEL (079) 440-9090 (代表) FAX (079) 438-5570

URL <https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/top01.html>

E-mail kenkokagaku@pref.hyogo.lg.jp

感染症部 病原体を観る、測る、分析する。

健康科学部 微量化学物質を迅速、高精度に分析する。

① MALDI-TOF MS (マルジトフマス)



② 次世代シーケンサー (遺伝子解析装置)



③ 共焦点レーザー顕微鏡



④ トリプル四重極リニアイオントラップ型液体クロマトグラフ質量分析計



⑤ 高速液体クロマトグラフ-四重極-飛行時間型質量分析計



⑥ トリプル四重極型高速液体クロマトグラフ質量分析計



⑦ トリプル四重極型ガスクロマトグラフ質量分析計



● 感染症部

- ① MALDI-TOF MS (マルジトフマス)
微生物に固有のタンパク質の質量を測定して、菌の種類を迅速に同定する装置
- ② 次世代シーケンサー (遺伝子解析装置)
微生物の持つ遺伝子を網羅的に解析できる装置
- ③ 共焦点レーザー顕微鏡
生きたまま細胞の中を観察できる装置

● 健康科学部

- ④ トリプル四重極リニアイオントラップ型液体クロマトグラフ質量分析計
豊富なライブラリーにより4000種以上の中毒物質等の化学物質を分析する装置
- ⑤ 高速液体クロマトグラフ-四重極-飛行時間型質量分析計
化学物質の分子量の小数点3位から4位までの精密質量 ($10^{-24} \sim 10^{-25}$ g程度) を測定し、迅速に化学物質を同定する装置
- ⑥ トリプル四重極型高速液体クロマトグラフ質量分析計 (難揮発性物質の分析)
- ⑦ トリプル四重極型ガスクロマトグラフ質量分析計 (揮発性物質の分析)
多くの化学物質が含まれる試料の中から、極微量の目的物質を高感度 (従来の10~100倍程度) に分析する装置

①	②	④	⑥
	③	⑤	⑦

感染症部

感染症や食中毒の原因となる微生物の試験研究、感染症患者の発生動向調査等を行っています。

● 感染症の流行状況監視と病原体の試験研究

令和2年3月に本県で新型コロナウイルス感染症の患者が確認されて以降、新型コロナウイルスに対する検査診断や変異株に対するゲノム解析を実施しています。また、医療機関と連携して平時から検体を検査して、感染症の流行状況を監視するとともに、国立感染症研究所を基幹として全国をカバーするネットワークに参画するなどして、感染症の発生動向等を常に警戒しています。さらに、県内で検出された病原体の解析や検査方法等の研究を行っています。

● 感染症集団発生への対応

腸管出血性大腸菌、ノロウイルスや原因不明の感染症集団発生時に緊急の検査診断を行い、疫学・遺伝子解析により感染源・経路を追究して拡大防止に役立てています。また、結核菌のVNTR法による分子疫学調査や結核の濃厚接触者へのQFTによる迅速診断を実施しています。

● 感染症情報センターによる情報提供

医療機関からの感染症患者発生報告を疾病ごとに、地域や年齢別に集計・解析した情報、病原体の検出結果、インフルエンザ流行期の学校の欠席状況及び新型コロナウイルスの検査結果・変異株の状況などを週報・月報として取りまとめ、ホームページ等を活用して県民や行政に情報提供しています。

▶ https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html 又は [兵庫県感染症情報センター](#)

健康科学部

食品、医薬品及び飲料水等に含まれる化学物質の試験研究を行っています。

● 食品の試験研究

残留農薬、残留動物用医薬品、食品添加物、有害金属、貝毒、遺伝子組換え食品、アレルギー物質 (アレルゲン)、食品用容器包装の試験研究を行っています。また、食品中の異物の特定や食品の異臭・異味の原因究明等の検査を実施しています。

● 医薬品の試験研究

医薬品、医薬部外品及び化粧品の品質確保のために、試験研究を行っています。また、健康食品などに違法添加された医薬品成分や危険ドラッグ等の分析を行っています。

● 飲料水の試験研究

飲料水の安全性を確保するため、水道水や水道原水中の無機金属、化学物質等の試験研究を行っています。また、県下の水質検査機関の信頼性確保のための精度管理を実施しています。

● 暮らしに関する試験研究

県民の関心が高い環境中の放射線量調査、花粉飛散調査を行うほか、温泉分析、繊維製品のホルムアルデヒド試験等、様々な試験研究を実施しています。

危機管理部

研究支援業務、研究成果の情報発信、県の検査施設の監査等を行っています。

● 研究部門の支援

研究課題等評価調整会議、倫理審査委員会等の各種委員会の企画調整のほか、外部研究費についての資金管理等を行っています。また、大規模な健康危機事案が発生した場合に、情報対応の窓口となり研究部門間や対外的な調整を実施します。

● 県民への情報発信

研究成果等は、講演会や研究発表会、機関誌、ホームページ等を通じて県民に情報発信をしています。また、県民に開かれた研究所として、施設公開や施設見学も行っていきます。

● 検査の信頼性確保

兵庫県の食品衛生検査施設及び病原体等の検査施設に対し、内部点検 (内部監査) 及び精度管理の結果の確認を行い、検査の正確さや検査結果の妥当性を点検・評価し、検査の信頼性を確保しています。